

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

矢祭町長 佐川 正一郎

市町村名 (市町村コード)	矢祭町 (07482)
地域名 (地域内農業集落名)	高城地区 (茗荷上、茗荷下、内川上、内川中、内川下、谷地下、真木野、石原・高高原、芝、町、小坂、江戸塚、滝ノ沢、天神沢、飯野)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年12月6日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

当地区では、集落営農組織や数名の農業者により農地の耕作が行われているが、今後高齢化による農業者の減少、耕作放棄地の拡大が懸念されており、新たな農業生産法人の設立と農地整備での生産性の向上による持続可能な農業が求められている。

(2) 地域における農業の将来の在り方

作付品目は、水稻を基本としている。
水稻以外の新たな品目に取り組むにはそれに応じた機械類が必要となる。後継者の候補が見当たらないなかにあつてはより一層の困難を伴うため、関係機関の協力のもと新規就農者の受け入れについて方法を模索する。未整備地エリアでは、耕作条件をみながら法人等の受け入れが可能か検討する。また優良農地の耕作を阻害しないよう、遊休農地発生を抑止に努めることとする。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	172 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	108 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とし、今後耕作が困難な農地(山際の農地等)については保全管理とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
計画的に集積集約を進められるよう関係者(地権者、耕作者、担い手)が連携し農地の集積集約を進めていく。
(2)農地中間管理機構の活用方針
農地中間管理機構の活用を積極的に行う。
(3)基盤整備事業への取組方針
地域や担い手の意向を踏まえつつ、水田の大区画化、畦畔除去などの基盤整備、水利施設の再整備に取り組んでいく。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
地域内外から多様な担い手を確保していく。 農地の確保から就農、その後のステップアップに合わせ、農業委員を中心に行政やJA等関係機関と連携し、継続した支援を行う。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
地域内で農作業の効率化を図るため、必要に応じてJA等の農業支援サービス事業を利用し、遊休農地の発生防止を図る。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

①鳥獣被害が多い地域であるため、防止対策は必須となる。各補助金を活用し、各農家が連携し対策を取っていく。また、狩猟免許取得者を増やし地域全体で鳥獣害対策を講じることが必要である。
⑧主要な経営体の規模拡大に伴い、水田区画の見直し及び農業施設の再整備も検討していく。

地域計画

策定年月日	令和7年3月25日
更新年月日	()
目標年度	令和11年度
市町村名 (市町村コード)	矢祭町 07482
地域名 (地域内農業集落名)	高城地区 (茗荷上、茗荷下、内川上、内川中、内川下、谷地下、真木野、石原・高地原、芝、町、小坂、江戸塚、滝ノ沢、天神沢、飯野)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	108 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	108 ha
② 田の面積	65 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	42 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	16 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	16 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)遊休農地(4.4ha)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

当地区では、集落営農組織や数名の農業者により農地の耕作が行われているが、今後高齢化による農業者の減少、耕作放棄地の拡大が懸念されており、新たな農業生産法人の設立と農地整備での生産性の向上による持続可能な農業が求められている。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

作付品目は、水稻を基本としている。
水稻以外の新たな品目に取り組むにはそれに応じた機械類が必要となる。後継者の候補が見当たらないなかにあってはより一層の困難を伴うため、関係機関の協力のもと新規就農者の受け入れについて方法を模索する。未整備地エリアでは、耕作条件をみながら法人等の受け入れが可能か検討する。また優良農地の耕作を阻害しないよう、遊休農地発生を抑止に努めることとする。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地バンクへの貸付を進め、法人への農地の集積・集約化を図る。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	23	%	将来の目標とする集積率
			80 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
担い手が利用する農地面積の団地数及び面積は、16箇所、平均2ha(令和6年度時点) 団地数の半減及び団地面積の拡大を進める。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
計画的に集積集約を進められるよう関係者(地権者、耕作者、担い手)が連携し農地の集積集約を進めていく。
(2)農地中間管理機構の活用方法
農地中間管理機構の活用を積極的に行う。
(3)基盤整備事業への取組
地域や担い手の意向を踏まえつつ、水田の大区画化、畦畔除去などの基盤整備、水利施設の再整備に取り組んでいく。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
地域内外から多様な担い手を確保していく。 農地の確保から就農、その後のステップアップに合わせ、農業委員を中心に行政やJA等関係機関と連携し、継続した支援を行う。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
地域内で農作業の効率化を図るため、必要に応じてJA等の農業支援サービス事業を利用し、遊休農地の発生防止を図る。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①鳥獣被害が多い地域であるため、防止対策は必須となる。各補助金を活用し、各農家が連携し対策を取っていく。
また、狩猟免許取得者を増やし地域全体で鳥獣害対策を講じることが必要である。
⑧主要な経営体の規模拡大に伴い、水田区画の見直し及び農業施設の再整備も検討していく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	0経営体		0 ha	0 ha		0 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 11 年度)				
			経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	利用者	菊池 匡美	水稲	0.6 ha	ha	水稲	0.6 ha	ha	11	
2	利用者	菊池 高弘	水稲	0.4 ha	ha	水稲	0.4 ha	ha	14	
3	利用者	菊池 秀雄	水稲	0.6 ha	ha	水稲	0.6 ha	ha	16	
4	利用者	菊池 昌史	水稲	0.5 ha	ha	水稲	0.5 ha	ha	17	
5	利用者	菊池 達矢	水稲	0.8 ha	ha	水稲	0.8 ha	ha	22	
6	利用者	菊池 貞二	水稲	0.1 ha	ha	水稲	0.1 ha	ha	23	
7	利用者	菊池 稔秋	水稲	0.1 ha	ha	水稲	0.1 ha	ha	25	
8	利用者	古市 則行	水稲	0.6 ha	ha	水稲	0.6 ha	ha	54	
9	認農	古市 健吾	水稲	1.1 ha	ha	水稲	1.1 ha	ha	56	
10	利用者	古市 茂樹	水稲	0.3 ha	ha	水稲	0.3 ha	ha	57	
11	利用者	古張 裕一	水稲、野菜	0.8 ha	ha	水稲、野菜	0.8 ha	ha	60	
12	利用者	古張 誠	水稲	0.1 ha	ha	水稲	0.1 ha	ha	61	
13	利用者	佐川 一夫	水稲	0.4 ha	ha	水稲	0.4 ha	ha	63	
14	利用者	佐藤 勝博	水稲	0.4 ha	ha	水稲	0.4 ha	ha	69	
15	認農	小貫 正勝	水稲	0.9 ha	ha	水稲	0.9 ha	ha	72	
16	利用者	小口 浩	水稲	0.6 ha	ha	水稲	0.6 ha	ha	75	
17	利用者	松本 学	水稲	0.1 ha	ha	水稲	0.1 ha	ha	80	
18	利用者	松本 貴之	水稲	0.2 ha	ha	水稲	0.2 ha	ha	81	
19	利用者	松本 義勝	水稲	0.3 ha	ha	水稲	0.3 ha	ha	82	
20	利用者	松本 恵一	水稲	0.8 ha	ha	水稲	0.8 ha	ha	83	
21	認農	松本 孝広	水稲、野菜	1.8 ha	ha	水稲、野菜	1.8 ha	ha	85	
22	利用者	青木 卓也	水稲	0.2 ha	ha	水稲	0.2 ha	ha	93	
23	利用者	石井 浩子	水稲	0.1 ha	ha	水稲	0.1 ha	ha	97	
24	利用者	大垣 昌蔵	水稲、野菜	2.8 ha	ha	水稲、野菜	2.8 ha	ha	100	
25	利用者	谷田部 京裕	水稲	0.4 ha	ha	水稲	0.4 ha	ha	102	
26	利用者	谷田部 博文	水稲	1 ha	ha	水稲	1 ha	ha	103	
27	利用者	藤田 護	水稲	1 ha	ha	水稲	1 ha	ha	107	
28	利用者	藤田 敏雄	水稲	0.1 ha	ha	水稲	0.1 ha	ha	110	
29	利用者	藤田 陽平	水稲	0.8 ha	ha	水稲	0.8 ha	ha	111	
30	利用者	日下 健次	水稲	0.3 ha	ha	水稲	0.3 ha	ha	112	
31	利用者	柳原 栄作	水稲	0.8 ha	ha	水稲	0.8 ha	ha	131	
32	認農	(株)すずき農園	水稲	2.5 ha	ha	水稲	2.5 ha	ha	138	
33	利用者	鈴木 修一	水稲	0.9 ha	ha	水稲	0.9 ha	ha	139	
34	認農	(株)矢祭興産	水稲	15 ha	ha	水稲	15 ha	ha	141	
35	利用者	鈴木 貞己	水稲、野菜	0.5 ha	ha	水稲、野菜	0.5 ha	ha	150	
36	利用者	鈴木 日香里	ゆず	0.5 ha	ha	ゆず	0.5 ha	ha	151	
37	利用者	鈴木 裕一郎	水稲	0.4 ha	ha	水稲	0.4 ha	ha	153	
38	利用者	鈴木 和宏	水稲	0.1 ha	ha	水稲	0.1 ha	ha	155	
39	利用者	高澤 春子	水稲	0.4 ha	ha	水稲	0.4 ha	ha	162	
40	認農	(株)さく丸	水稲	0.8 ha	ha	水稲	0.8 ha	ha	66	
41				ha	ha		ha	ha		
42				ha	ha		ha	ha		
43				ha	ha		ha	ha		
44				ha	ha		ha	ha		
45				ha	ha		ha	ha		
46				ha	ha		ha	ha		
47				ha	ha		ha	ha		
48				ha	ha		ha	ha		
49				ha	ha		ha	ha		
50				ha	ha		ha	ha		
51				ha	ha		ha	ha		
52				ha	ha		ha	ha		
53				ha	ha		ha	ha		
54				ha	ha		ha	ha		
55				ha	ha		ha	ha		
56				ha	ha		ha	ha		
57				ha	ha		ha	ha		
58				ha	ha		ha	ha		
59				ha	ha		ha	ha		
60				ha	ha		ha	ha		
61				ha	ha		ha	ha		
62				ha	ha		ha	ha		
63				ha	ha		ha	ha		
64				ha	ha		ha	ha		

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

	番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
31				
32				
33				
34				
35				
36				
37				
38				
39				
40				
41				
42				
43				
44				
45				
46				
47				
48				
49				
50				
51				
52				
53				
54				